



## こだわりを大切に

校長 伊勢 明子

1学期の終業式に全校児童に「夏休みには、このお休みにしかできないことをやってみてください。」と話しました。パリオリンピックをテレビ観戦することや自分らしい自由研究に挑戦することを例として伝えました。

東京オリンピックのとき、3年生だった子どもたちは、6年生になっています。一つ一つの競技から見える景色、印象、感動は、3年を経て、大きく違ったものになっていると思いました。また、戦い終えた選手からのうれしさ、くやしきのメッセージも心の深いところに届いたのではないのでしょうか。中でも、幼いときからオリンピックをめざし、日々、練習に打ち込み、努力を重ねてきた選手の在り様に、夢や目標をもつことの強さ、素晴らしさを感じたことと思います。「敗者復活涙の銅メダル」、「二連覇の金メダルをとってもロスで三連覇を」、「銀メダルを取っても今度は違う色のメダルを」などなど。こだわりという言葉は、よい意味で使われないこともあります。選手一人ひとりの多様なこだわりが

選手を突き動かす原動力となっていると思わざるを得ません。

「なんでもいい。」から、「こうしたい。こうしてみたい。」自分だけの「こだわり」をもつことを今以上に大切にしていきたいと考えます。学習においては、「自由研究」が最たるものと考えています。夏休みの課題に自由研究があるのは、長い休みの中で、普段から気になっていることや挑戦したいことをやれる時間があるからです。何をやらいいか分からず、調べたり、人に相談したりという経験が次に生きていきます。最初からうまくいなくても、失敗したり悔しい思いをしたりしてもその経験自体が必ず子どもの成長をうながします。ご家庭には子どものこだわりを大事に見守っていただき寄り添っていただければと思います。

今年も2学期の全校朝会で自由研究の表彰を行います。ステージ上で賞状をもらったときの子どもたちの誇らしげな顔を楽しみにしています。

### 9月の生活目標 『 くつばこ、1mmのきせきを意識して! 』

生活指導部 長崎 洋子

今年は連続の猛暑日に加え、自然災害の脅威を改めて感じる夏休みになりました。そのような中でも、それぞれ思い思いの充実した夏休みを過ごしたことと思います。

さて、2学期が始まり、友達と再会する喜びと、新たな期待に胸を膨らませて、笑顔いっぱい元気な子どもたちが戻ってきました。事故なく、楽しく学校生活を送るためにも、学校のきまりを再度確認し、落ち着いた生活を送ることができるよう促していきます。そのための第一歩として、今月は靴の整頓を心掛けることを目標にします。ご家庭でも余裕をもって送り出してください、一日のスタートが気持ちよく切れるよう、ご協力をお願いします。

